



写真 ①西田副市長による開式の辞／②式辞を述べる平尾市長／③市政功労者表彰／  
④三日月知事からの祝辞／⑤四日市大学副学長 岩崎 恭典氏による記念講演会

# 合併10周年の節目を祝う

10月10日、米原公民館で「米原市合併10周年記念式典」を開催しました。現在の米原市は、平成17年に、山東町・伊吹町・米原町・近江町の4町が2度の合併を経て誕生しました。

10周年を祝う式典には、来賓や市民など約450人が出席し、オープニングでは、市の10年の歩みをビデオ上映で振り返りました。

また、第2部では四日市大学副学長(米原市行財政改革市民会議座長)の岩崎恭典氏から、米原市合併10年のまちの歩みと地方創生を見据えたこれからのまちづくりについて記念講演がありました。

この節目に、これから10年、20年先の未来を展望し、市民のみなさんとともに確かな歩みを進める米原市を創造していきます。

問 市 広報秘書課(米原庁舎) ☎ 52-6625 FAX 52-5195

# 市政功労者表彰

## 社会体育功劳

鍵弥 正樹（元スポーツ推進委員）  
なかや まさき（元スポーツ推進委員）

## まちづくり功労（市民）

田中 萬祐  
たなか まこと  
長年にわたり、鴨と虫の里づくりグループの代表として、ゲンジボタルの保護と自然環境の保全に尽力

年20回目の「やいと祭」を開催。今では、市を代表する夏の催しとして定着し、多くの来場者を集め、地域の賑わいづくり、活性化に貢献している。

まちづくり活動や市政の発展にご尽力いただいた方の功績を称える「市政功労者表彰式」を、合併10周年記念式典の第1部で開催しました。被表彰者は次のとおりです。

※敬称略

## 産業振興功劳

江竜 喜之（元文化財保護審議会委員）  
えりのり きのじ（元文化財保護審議会委員）

## まちづくり功労（市民自治組織）

田中 久代  
たなか ひさよ  
平成5年の多良老人会の設立に奔走され、平成7年の会長就任以来、会の運営に尽力

市政功労者表彰とあわせて、次のみなさんに感謝状が贈られました。

※敬称略

## 自治功劳

泉 峰一  
いずみ みねかず  
1期4年にわたり、米原市長として在職され、市政の進展に尽力

山田 勝（農業委員会委員）  
やまだ まさる（元農業委員会委員）

河地 和枝・大橋 和美・草野 みき子  
かわち かずえ おおはし かずみ くさの みきこ  
(元健康推進員)

（健康推進員）

## 社会福祉功劳

川森 逸雄  
かわもり ゆきお  
多年にわたり、代表監査委員として在職され、市政の進展に尽力

堀内 安夫（農業委員会委員）  
ほりうち やすお（元農業委員会委員）

森 義幸（少年補導委員）  
もり ゆきゆき（少年補導委員）

（少年補導委員）

今川 晃  
いまがわ あきら  
市制施行後、米原市自治基本条例推進委員会会长として在職され、市の自治の確立と社会福祉の向上に尽力

西村 光夫（農業委員会委員）  
にしむら ひかる（元農業委員会委員）

大鹿 英彰（保護司）  
おおのしか ひであき（保護司）

（保護司）

岩崎 恭典  
いわさき ゆきのり  
市制施行後、米原市行財政改革市民会議座長として在職され、本市行財改革の推進に尽力

水野 敏彦（学校（園）医）  
みずの のぶひこ（学校（園）医）

久保田 伊和男（学校（園）医）  
くぼた いわお（学校（園）医）

（学校（園）医）

畠野 秀樹（学校（園）医）  
はたの ひでき（学校（園）医）

森 義幸（少年補導委員）  
もり ゆきゆき（少年補導委員）

（少年補導委員）

今川 晃  
いまがわ あきら  
市制施行後、米原市行財政改革市民会議座長として在職され、本市行財改革の推進に尽力

大津 栄（学校（園）薬剤師）  
おおつ さかえ（学校（園）薬剤師）

（学校（園）薬剤師）

堀田 佐和子（元教育委員）  
ほりた さわこ（元教育委員）  
多年にわたり、自治会長として在職され、地域自治の推進に尽力

中野 民子（元文化財保護審議会委員）  
なかの もんこ（元文化財保護審議会委員）

（元文化財保護審議会委員）

教育功劳  
きょういくこうろう  
堀田 佐和子（元教育委員）  
ほりた さわこ（元教育委員）

中野 民子（元文化財保護審議会委員）  
なかの もんこ（元文化財保護審議会委員）

（元文化財保護審議会委員）

市制施行後、米原市行財政改革市民会議座長として在職され、本市行財改革の推進に尽力

中野 民子（元文化財保護審議会委員）  
なかの もんこ（元文化財保護審議会委員）

（元文化財保護審議会委員）

## 感謝状贈呈



## 自治功劳

梅田 浩章  
うめだ ひろあき  
多年にわたり、代表監査委員として在職され、市政の進展に尽力

河内 正道（農業委員会委員）  
かれい まさみち（元農業委員会委員）

（元農業委員会委員）

多年にわたり、代表監査委員として在職され、市政の進展に尽力

西村 光夫（農業委員会委員）  
にしむら ひかる（元農業委員会委員）

（元農業委員会委員）

多年にわたり、代表監査委員として在職され、市政の進展に尽力

大鹿 英彰（保護司）  
おおのしか ひであき（保護司）

（保護司）

多年にわたり、代表監査委員として在職され、市政の進展に尽力

森 義幸（少年補導委員）  
もり ゆきゆき（少年補導委員）

（少年補導委員）

多年にわたり、代表監査委員として在職され、市政の進展に尽力

大鹿 英彰（保護司）  
おおのしか ひであき（保護司）

（保護司）

多年にわたり、代表監査委員として在職され、市政の進展に尽力

森 義幸（少年補導委員）  
もり ゆきゆき（少年補導委員）

（少年補導委員）

多年にわたり、代表監査委員として在職され、市政の進展に尽力

大鹿 英彰（保護司）  
おおのしか ひであき（保護司）

（保護司）

多年にわたり、代表監査委員として在職され、市政の進展に尽力

大鹿 英彰（保護司）  
おおのしか ひであき（保護司）

（保護司）

教育功劳  
きょういくこうろう  
堀田 佐和子（元教育委員）  
ほりた さわこ（元教育委員）

中野 民子（元文化財保護審議会委員）  
なかの もんこ（元文化財保護審議会委員）

（元文化財保護審議会委員）

市制施行後、米原市行財政改革市民会議座長として在職され、本市行財改革の推進に尽力

中野 民子（元文化財保護審議会委員）  
なかの もんこ（元文化財保護審議会委員）

（元文化財保護審議会委員）

教育功劳  
きょういくこうろう  
堀田 佐和子（元教育委員）  
ほりた さわこ（元教育委員）

中野 民子（元文化財保護審議会委員）  
なかの もんこ（元文化財保護審議会委員）

（元文化財保護審議会委員）

田中 萬祐さん  
かずすけさん

## ホタルを通した 自然環境の 保全保護活動



「米原は自然豊かだとよく言われますが、この10年間で自然環境は急激に変化しました。靈仙山ではシカが群れを成し、山頂はシカの食害で丸裸に。伊吹山のヒメボタルも平成17年には山頂に約1万匹いましたが、平成19年にはおよそ半分に減ってしまいました。自然環境が今どうなっているか、眞実は何かということをしっかりと調べることが大切だと思います」と田中さんは、危機感を持つて話してくれました。

田中さんは「鴨と蛍の里づくりグループ」の代表を務め、ホタルを通じて自然環境の保全・保護活動に取り組まれています。毎年春先には、ゲンジボタルの幼虫の上陸数をグループで分担して毎晩調査。その調査資料は、ほたるまつりの期日決定に欠かせません。ほたるまつり期間中は旧山東東小学校にほたる館を開設し、ホタル保護の歩みやホタルの生態を紹介されています。

また、ため池百選に選定されている三島池での水鳥観測や、小学生などを対象とした自然観察会も開催。公立高校の理科教諭だった田中さんは「今は子どもの遊び方が変わり、自然への関心が希薄になってしましました。子どもたちの親の世代も山で遊んだ経験が少ないため、家族で野山へ出かけても戸惑う親も多いのです。学校の授業だけではなく、家族で野山に出かけて自然と接してほしい。そうすると自然の豊かさや、その変化が見えてくるのではないか」と話してくれました。

## 子どもたちに夢を届けるお話を活動

### 「夢のつばさ」「おはなしボランティアグループ」



「お話を聞く子どもたちの真剣な表情と笑顔が、ボランティアを続ける私たちの大きな喜びです」と話すのは、グループ代表の膽吹照子さん。

夢のつばさは「お話をすばらしさを子どもたちに伝えることで、本やお話を大好きで、夢を持った心豊かな子に育つてほしい」と願い、現在16人で活動中。今年で20年を迎えた。活動内容は、「おはなし会」を毎月開催するほか、小学校や認定こども園、デイサービス、地域のサロンなど各所に出向いて、たくさんのおはなし会と楽しい時間を届けています。

おはなし会は絵本の読み聞かせだけではなく、大きな紙芝居や、歌やお話を合わせてパネルに絵人形を貼つていくパネルシアターなど、手作りで温かみのあるものばかり。観客は一気におはなしの世界に引き込まれます。

胆吹さんは「私たちのおはなし会は、無理に静かに聞かせる場ではありません。赤ちゃんが動き回つても泣いても大丈夫。興味のあるお話になると、じつと見て聞く。その瞬間がすばらしい時間になります。その瞬間を重ねると、子どもたちが自然に集中して聞くようになります。今後は子どもたちだけでなく、もっと多くの人に、少しでも物語と触れ合うきっかけを作り、お話を通して、心豊かな人生を送つてもらえるよう活動を続けていきたい」と笑顔で話してくれました。

## 地域の住民で 手作りのお祭りを柏原宿

柏原宿  
やいと祭実行委員会



第20回やいと祭実行・運営委員長  
横川 康文さん

「よつてみやんせ、やいとの里へ」をキヤツチフレーズにした中山道柏原宿やいと祭は、今年7月で20回目の開催となりました。

やいと祭は、伊吹もぐさの発祥の地にちなんで「やいとを据えて（お灸をする）、まちを元気にしよう」と地元を愛する「5人衆」が立ち上げたお祭りで、地域住民の「手作り」にこだわっています。およそ1000人にもおよぶ実行・運営委員会のメンバーが、それぞれの得意とすることを生かして準備に関わります。1000個以上の手作り行灯や、7メートルの大行灯「柏原スカイツリー」には子どもたちの絵が描かれ、前夜祭には宿場町をほのかに灯します。

また、実行・運営委員会は、やいと祭の開催だけではなく、宿場町の街並み保全や、地域のモミの木を桶に加工して観光客へ薬草足湯を提供するなど、おもてなしの環境作りもされています。さらに他団体との交流も活発で、地域の枠を超えた活動へと広がっています。

「柏原で育った人の中には、やいと祭があるから柏原に戻ってきた」という人もいる。滋賀の東の玄関口として、今後も柏原の魅力を広めていきたい」と実行・運営委員長の横川さんは話してくれました。

## あなたもまちづくり活動 はじめませんか

# まちづくり 人財ノ森集会2015+ を開催します

市内には、100を超える市民活動グループがあり、このまちをより暮らしやすく、魅力に満ちた場所にするため、それぞれが掲げたテーマや課題に取り組んでいます。

まちづくりに興味のある人同士が居合わせることで、新たな活動の幅が広がることや新たな動きが生まれることを期待して、ルッチ大学院の研究グループから組織された市民活動グループ「ルッチまちづくりネット」が、「まちづくり人財ノ森集会2015+」を開催します。

ぜひお越しください。

問 市 政策推進課(米原庁舎)  
☎52-6626 FAX 52-5195

■日 時／12月13日(日)  
13時～17時  
■場 所／ルッチプラザ 健康ルーム  
■テー マ／「まぜて・ちらして・つなぐ」  
まちづくり

申込不要・参加無料

### ■タイムスケジュール

13時～ 開会

13時10分～ ショートレクチャー

- ・「わけて・あつめて・しばる」から「まぜて・ちらして・つなぐ」へ  
講師：滋賀県立大学 地域共生センター 助教  
上田 洋平氏

13時30分～ 基調講演

- ・中心市街地の活性化事業「これからビル」の取り組み  
講師：福井木守り舎 高島 健氏
- ・「ひと・もの・こと」がつどい、つながる場所づくり  
講師：ひこねで朝市 山名 弘祐氏

15時30分～ 市内の取組紹介

- ・米原駅西口 コワーキングスペース\* 計画について  
立澤 竜也氏
- \* さまざまな業種、年齢の人が集まり、仕事をしたり、ノウハウやアイデアを共有し、協働する場所
- ・市民がつどい、つながる場「ゆっくりマルシェ」  
藤田 知丈氏

16時～ クロストーク(パネルディスカッション)

- ・コワーキングスペース 福井×米原 共通点と相違点 など

※ 内容は予告なく変更する場合があります。

こうした中、準備を進めてきました「まち・ひと・しごと  
米原創生総合戦略」を10月末に公表することができ、基  
本目標のひとつには、米原市の核（コア）となるべき米原駅周  
辺の都市機能強化を掲げています。企業民間との連携に  
よる滋賀の玄関口・米原駅東口の一体開発です。  
米原創生で、市民のみなさんの暮らしと地域を軸に、「  
米原くらし」の魅力をさらに高め、「住んでよかった」「住  
み続けたい」と実感を得られるまちづくりを進めます。

10月10日の「米原市合併10周年記念式典」では、10年の歩みを振り返るとともに、未来を展望し、確かな歩みを進めていくことを多くの市民のみなさんと確認することができました。同時開催した「米原ぱっぽフェス2015」は、特に若い人たちの企画で、米原の可能性や楽しさ、ころがイベントの魅力として發揮され、前回を上回る来場者数となりました。また、多種多彩な催しや事業が多様な市民活動を背景に行われ、これから10年、20年を展望できるきっかけとなりました。

市役所内では、米原創生のスタートである平成28年度予算編成に向けて、現場での創意工夫や庁内のスクラム体制を確認し、危機感と緊張感を持つて職員との議論を深めています。

